

(独)防災科学技術研究所と協力し、防災に関するインターネットサイト「小林市ポータル」を実験的に運用しています。市内の自主防災組織が作成した防災マップなどを閲覧できます。市民協働による防災の取り組みをのぞいてみませんか。(問：小林市市民活動支援センターTel.27-3177)



News 官民連携事業
国際印刷機材展でPR
RICOH(株)ブースに小林市



(左)メインステージでは市のPR動画が放映
(右上)小林市のコーナー(右下)装飾テーブル

東京ビックサイトで9月11日～16日に開催された「IGAS2015(国際総合印刷機材展)」で、リコージャパン(株)の計らいにより、小林市のPRが行われました。同社ブース内に、小林市の魅力やふるさと納税などを紹介するスペースを設置。同社製の最新機材によって、小林市の四季が印刷されたテーブルや、「西諸弁ポスター」がプリントされたTシャツなどが展示されました。

News 防災・減災
市内18つ目のNPO法人
災害ボランティア団体を認証

特定非営利活動(NPO)法人小林市災害ボランティアコーディネーターセンターの設立認証書交付式が、9月7日に行われました。同センターは、災害時の救援活動や支援活動のコーディネートや市民の防災・減災の意識の啓発などを行っています。倉田富夫センター長は「誰もが安心して暮らせるまちをつくっていくために、地域の防災力を高めていきたい」と話していました。



同センターの皆さん。今回でNPO法人は18法人目。さらなる市民活動の活性化を目指します

取り組みを紹介します

きずな協働体 今月は、西小林地区

にっこばでいよいよブルーベリー葉栽培に着手!

にっこばまちづくり協議会では、地域の新たな特産品の開発と自主財源の確保のため、ブルーベリー葉の栽培に着手しました。市の新品目導入試験事業補助金を活用して、市内の「なな葉コーポレーション」や宮崎大学農学部と連携協力し取り組んで

きました。9月5日には、準備を進めてきた約1500平方メートルの畑に、地域住民など25人が苗木4500本を手作業で植栽。来年秋ごろに収穫する予定です。今後は段階的に栽培面積を増やし、年間100万円程度の自主財源の確保につなげていきます。



いよいよ始まったブルーベリー葉栽培。今後も皆で協力して盛り上げていきたいですね!

にっこばまちづくり協議会
ブルーベリー葉栽培研究会
大出水拓磨さん

協働により「九州一 安心安全なまち 小林市」を目指して

こばやし協働 Info & News インフォ アンド ニュース

News 女性活力
女性農家が商品を開発・販売
こばやしママンマルシェ開催



こばやしママンは、女性の視点で、子どもからお年寄りまでおいしく食べられる商品を開発しています

女性の活力推進グループ「こばやしママン」が、8月24日、市役所玄関前でマルシェを開催しました。こばやしママンは、市内に住む女性農家など約30人で構成。今回、農産物の販売や試作品のごぼうパイの振る舞い、商品開発第1弾として地元の野菜を使用した野菜パウダー3種を販売しました。ごぼうパイを考案した吉留久美さんは、「地元の美味しい野菜を、みんなに食べてもらいたいと思い開発しました」と話していました。

News グルメ
ご当地グルメコンテスト2位
サニーサイドで商品化・販売

アサヒビールプレゼンツご当地グルメコンテストinまつり宮崎が、8月22日、MRTmiccで開催され、市の「野菜たっぷりヘルシータコス」が準優勝を獲得しました。本事業は、4月から3年目の市職員が研修の一環で実施。「世界のビールとレストラン sunny side」や「パン工房アラジン」などの協力をもらい、メニューの考案、PR活動や祭り当日の準備、運営などを行ってきました。このタコスは、現在、sunny side で商品化・販売されています。



スタッフでの記念写真。準優勝の副賞として、ラジオのスポットCM100本などをいただきました

登録者数1万人目前! カウントダウン 9月18日現在: 9913人



防災や防犯に役立つ情報届けます。「小林市防災・防犯メール」

災害や身近な防犯情報をお届けします。携帯電話やスマートフォンのカメラ機能で、QRコードを読み取り、本文に「ぼうさい」と入力し、送信すると登録できます。登録完了メールが届かない人は、防災メールなどを受信できない設定になっている場合が考えられます。「city.kobayashi.lg.jp」からのメールを受信できるよう携帯電話から設定するか、最寄りの携帯電話の販売店にて受信設定を行ってください。(問:危機管理課 Tel.23-1175)

